

1.1. お住まいの地震対策について（問31～問34）

問31 お住まいの住宅の着工はいつですか。（n=2,415）

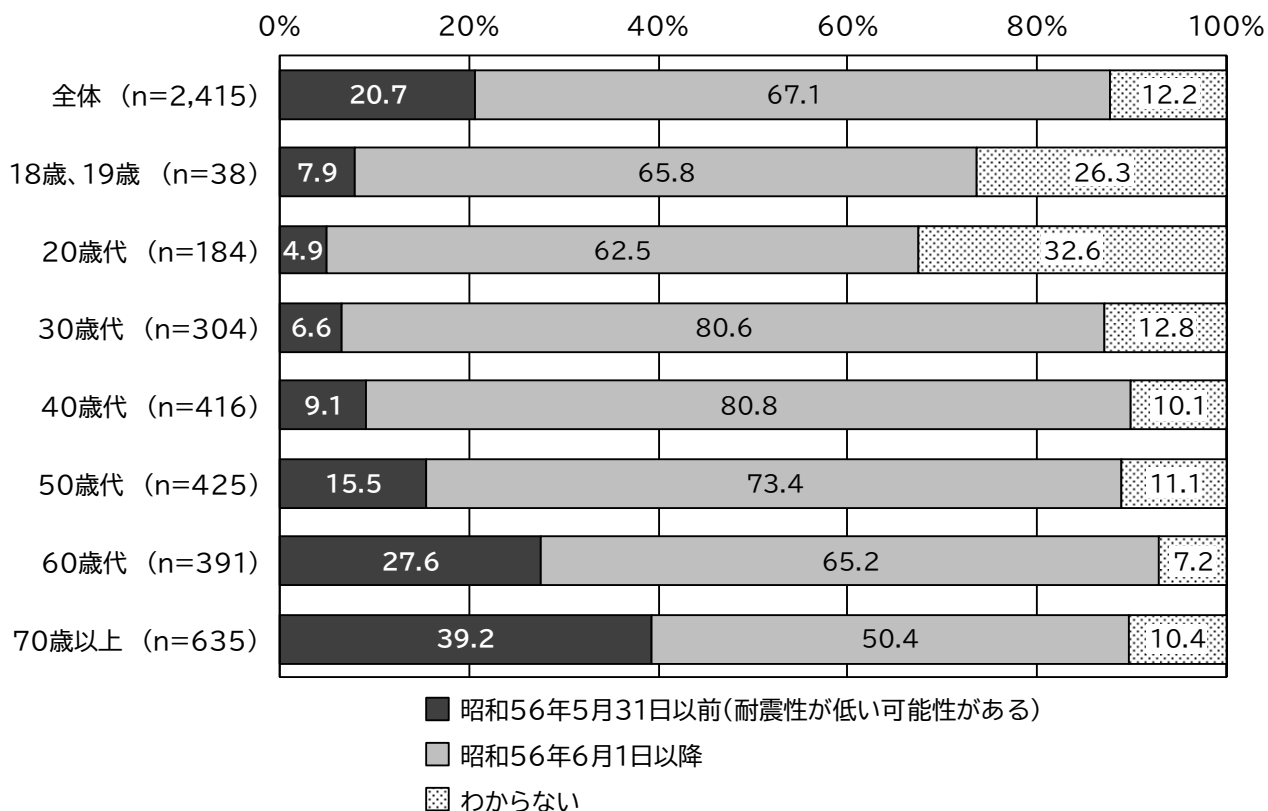
（1）全体的傾向

「昭和56年6月1日以降」と回答した人の割合が67.1%と最も高く、次いで「昭和56年5月31日以前（耐震性が低い可能性がある）」（20.7%）、「わからない」（12.2%）となっている。

（2）年代別にみた特性

すべての年代で、「昭和56年6月1日以降」と回答した人の割合が最も高くなっていく。特に30歳代から40歳代は80.6%～80.8%と8割を超えている。

また、「昭和56年5月31日以前（耐震性が低い可能性がある）」と回答した人の割合が、年代が高くなるほど高くなっており、70歳以上は、39.2%と他の年代と比べ最も高くなっている。



<問31で「昭和56年5月31日以前（耐震性が低い可能性がある）」と答えた方にお聞きします。>

問32 お住まいの住宅は、木造ですか、木造以外（鉄骨造、鉄筋コンクリート造等）ですか。（n=493）

（1）全体的傾向

「木造住宅」と回答した人の割合が81.9%と最も高く、8割を超えている。

（2）年代別にみた特性

18歳、19歳は回答数が少ないため、20歳代以上でみると、「木造住宅」と回答した人の割合が77.8%～84.8%と最も高くなっている。



問33 お住まいの住宅に対して、どのような地震対策をしていますか。

(複数回答：n=491)

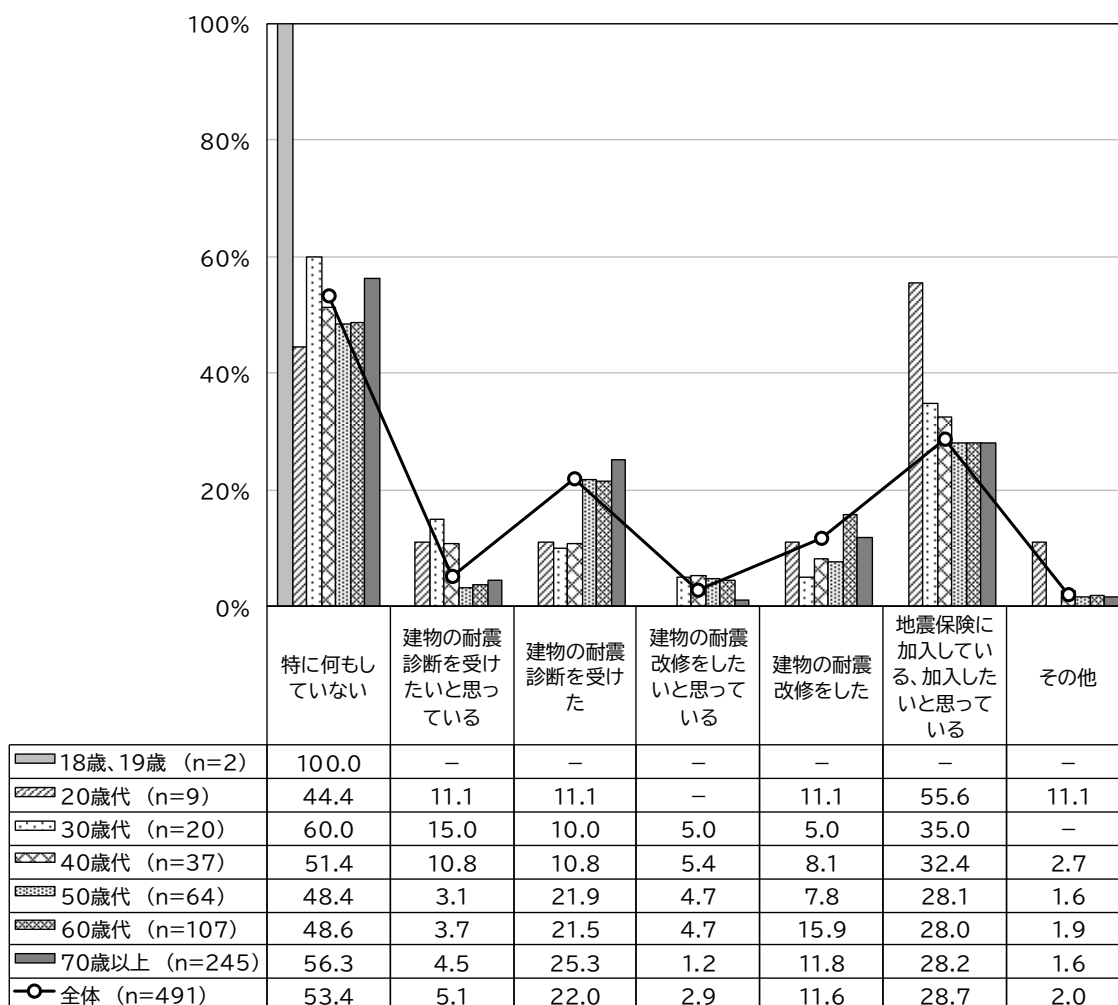
(1) 全体的傾向

「特に何もしていない」と回答した人の割合が53.4%と最も高く、次いで「地震保険に加入している、加入したいと思っている」(28.7%)、「建物の耐震診断を受けた」(22.0%)と続いている。

(2) 年代別にみた特性

18歳、19歳は回答数が少ないため、20歳代以上でみると、20歳代を除き、すべての年代で、「特に何もしていない」と回答した人の割合が48.4%~60.0%と最も高くなっている。

また、「地震保険に加入している、加入したいと思っている」と回答した人の割合が20歳代は55.6%、20歳代以上は、28.2%~35.0%と高くなっている。



<問33で「特に何もしていない」と答えた方にお聞きします。>

問34 地震対策をしていない理由は次のうちどれですか。（複数回答：n=235）

(1) 全体的傾向

「耐震改修にお金がかかる」と回答した人の割合が54.9%と最も高く、次いで「耐震診断にお金がかかる」(32.8%)、「耐震改修しても安心できない」(17.4%)と続いている。

(2) 年代別にみた特性

18歳、19歳は回答数が少ないため、20歳代以上でみると、すべての年代で、「耐震改修にお金がかかる」と回答した人の割合が42.9%~69.4%と最も高くなっている。

